

7. おわりに

この基本構想の中では、J R海田市駅地区周辺における効果的なバリアフリー環境を実現していくために、移動等円滑化に関する整備方針や実施すべき事業などについて定めてきた。今後、この基本構想を実効性のあるものとし、着実な事業実施を推進するためには、各事業者だけでなく、町民や行政がそれぞれの役割を認識し、相互に連携を図って協力していくことが重要である。

また、今回の基本構想の中では、目標年次である2010年（平成22年）までの実現性を考慮して内容を定めてきたが、準生活関連経路におけるバリアフリー整備など残された課題は多い。今後も、継続的にこの基本構想の見直し・更新を行い、より一層のバリアフリー化を推進していくことが重要である。